



情報ファイル

地域を生かす教育グレードアップ事業

山口県美祢郡秋芳町立秋吉小学校

はじめに

日本最大のカルスト台地、秋吉台。その南麓に位置する、全校生徒87名の小さな学校が私たちの学校です。本校の保護者はとても協力的です。自然を学ぶことにおいて教育的価値の高い秋吉台、このすばらしい条件を生かしたいという思い、県から『地域を生かす教育グレードアップ事業（3年次計画）』を平成9年度より受けたことを機に、「学校を開いて、保護者や地域と共に児童を育てる・地域で学ぶ・地域から学ぶ」という姿をめざすことにしました。

1 教科の年間計画に地域素材を組み込んでしまおう



1年生国語科「たぬきの糸車」
～婦人会長さんをお招きして～
室、学校の畑、川等

- ・ 活用した地域の人材等
児童の祖父、祖母、校区内で働く方々、公民館、観光商工課、婦人会、秋芳ヘルス工業（ゴミ収集車）、視覚障害者、秋吉台科学博物館学芸員、農業改良普及センター、一人暮らしのお年寄り等
- ・ 教室として活用した場所
学校周辺、秋吉台民家民族園、校庭、町、田、秋吉台科学博物館、ホール、図書室、音楽室、交流センター

人材も含めた地域の素材を授業に生かすことよ
さは誰もが認めています。本校では、発掘してき
た素材を年間計画に組み込み、実践することにし
ました。その結果、次のような効果がありました。

- ・ あらゆる場所が教室となります。
- ・ 授業がおもしろくなり、学習の効果が高ま
ります。
- ・ 体験的な学習が取り入れられるなど、学習内
容がバラエティー豊かになります。

地域素材(例)

学年	6	教科等	理科	単元・題材名	土地のつくり	11月
地域 素材					赤土 秋吉台科学博物館 秋吉台科学博物館館長補佐 杉村昭弘 秋吉台の化石	
目 標					地層や岩石などを観察し、土地をつくっているものの構造や土地の成り立ちを調べることができる。 土地は、砂、礫、粘土、火山灰、岩石などからできており、層を作ってできているものがあること。 地層は、地層の厚さや山火の噴火などによって、化石などが含まれているものがあること。 地層と火山灰では、石の層に違いが見られること。 秋吉台の地層はサンゴ層であり、プレート移動によって沈み込んだ石灰岩の層であること。	
学 習 の 流 れ					土地のつくり かけの観察・地層のつくり・地層の広がり 地層の成り立ち 化石 堆積岩 対比し 火山と火山灰 秋吉台に集った火山灰・赤黄土 堆積岩と火山灰・まごめ 秋吉台の成り立ち	世界の秋吉台 学校の赤土山・赤土の切りとおし 石炭 科学博物館(化石) 秋吉台の成り 秋吉台に集った火山灰・赤黄土 秋吉台の成り立ち
視 点					1 学習内容の理解を助ける。 2 問題解決的な流れで、学習の方法を学ぶ。 3 問題解決の力(課題発見・課題解決・発信)を培う。 4 生活に生かす。 5 地域に対する温かい心情を育む。	
準備					顕微鏡・OHP・実物投影機・化石カード・「秋吉台の自然観察」・化石観察カード	

- ・ 普段の学校生活では得ることが難しい、感動見聞、知恵などを学びます。
- ・ 先生方の目が学校の外に向きます。
- ・ “地域の方と授業”という体験ができます。

2 これまでの体験活動を地域とのつながりで見直そう

(1) 花いっぱい心のぬくもり [行事・学級PTA]

山口県PTA連合会「おやごころ」(H11. 9.22)

花いっぱい・心のぬくもり

「秋吉フラワーデー」

秋芳町立 秋吉小学校

雄大な秋吉台、秋芳洞の近くにある秋吉小学校は、生徒数86名という小さな学校です。地域には、学習に役立つものが原石でごろごろ転がっています。

本校は、地域に出かけたり、地域の方を学校に招いたりしています。特に、保護者の方も含めて、様々な人々との出会いとふれあいは、普段の学校生活では得られない知恵や心のぬくもりを与えてくれます。

その一つを紹介しましょう。

本校では、従来から取り組んでいる花いっぱい運動を、地域の方々との接点として利用することはできないかと考え、平成9年度から、「一人暮らしのお年寄りの方へ花のプレゼント訪問」を行っています。

登校班を中心に班を編成し、徒歩で一軒一軒訪問します。子供たちが、どのような体験をしてどのような感想を持ったかは様々です。ですが、訪問を終えた子供たちからは、温かな余韻と静かな興奮が伝わってきます。これを契機に、文通が始まったり、お家に遊びにいらたりする子供もいます。

平成11年度は、さらに発展させて、「秋吉フラワーデー」を催しました。全校児童と保護者が一緒になって花いっぱい活動を行います。小さな苗をポットやプランターに移植したり、くわで畑を耕したりと、親子でさわやかな汗を流しました。その後、花のプレゼント訪問に向かいました。今年度で3回目です。多くのお年寄りの方が心待ちにしておられました。

秋吉地区の人々の心に花がいっぱい咲くことを信じて、この活動を続けていきます。

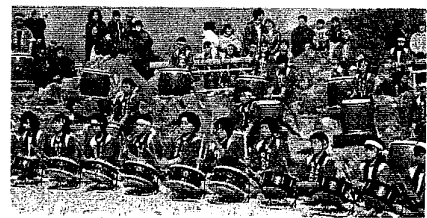
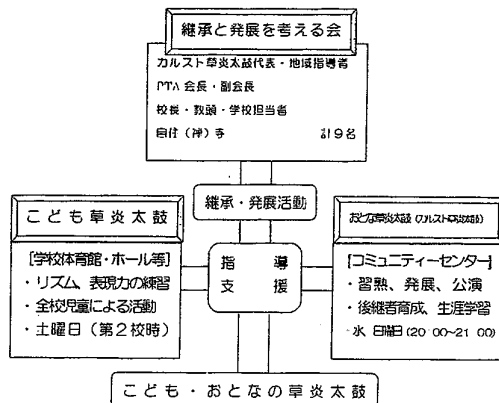


「毎年楽しみにしています。」

(2) 見たことのあるおじさんたちが教えるカルスト草炎太鼓 [創意]

地域の伝承芸能「カルスト草炎太鼓」は、平成5年度に学校教育に取り入れられました。

平成10年12月には、『草炎太鼓の継承と発展を考える会』が発足し、活動内容と組織の充実を図っています。(外部からの演奏依頼があったときには、『継承と発展を考える会』が具体的な対応を検討します。)児童は、地域指導者の熱心な指導を受け、めきめき腕をあげていきます。



秋吉台山焼きでの演奏

目標は太鼓の技術の習得そのものです。この目標を達成する過程において、地域の伝統文化を大切にする心、礼儀、態度、集中力、人との交流による温かな心情、リズムや音の感性などを習得させることをねらいとしています。

(3) 5年生になれば稲作体験〔社会科，学校行事〕

公民館主催の三世代交流事業と，5年生の社会科（稲作）をタイアップさせました。社会科の授業の一環として，田植え，稲刈り，稲こぎ，収穫を体験します。

これらの日には，公民館，長寿会，婦人会，JAそして学級PTAも参加します。

最後の収穫祭には全校生徒が参加し，餅つき・しろなわ作り・昔の遊びなどをお年寄りの方から教えていただき，収穫したもち米で，一緒に給食もいただきます。

どの行事も「時」を忘れるひとときです。



収穫祭（もちつき）

3 これもやってみようー「総合的な学習の時間」の試行ー〔創意〕

平成9年度の児童と保護者へのアンケート結果を見ると，両者共に秋吉台・秋芳洞への関心が高く，学校教育でそれらを学ぶことに期待を寄せていました。私たちは，社会科や理科，生活科などの教科で秋吉台・秋芳洞を取り上げていますが，結局は目標達成のための手段に過ぎません。秋吉台・秋芳洞そのものからテーマを見い出してある程度大局的につかみとらなければ，秋吉台・秋芳洞学習とはいえません。また，私たちの指導と支援により，活動の過程で児童は多くの価値を血肉にすると予想できます。

そこで，以下のように実践に踏み切りました。

「秋吉台・秋芳洞を調べて，観光客に教えてあげよう。」
 単元名：ズームイン秋吉台「オールランド博物館オープン」

(1) ねらい

ア 秋吉台・秋芳洞について調べたり，秋吉台・秋芳洞や様々な人々とのふれあいを通して，自然を体・頭・心で感じ，自然を進んで守ろうとする態度を育てる。

イ 「秋吉台・秋芳洞」をテーマとした学習を通して，自ら課題を見付け，進んで考える意欲や態度を培う。

ウ 学習したことをいろいろな方法で表現できるようにする。

(2) 学習の流れ

ア 「どんなことを調べてみたいのかな。」（3～6年生一人一人にアンケート）

イ 「先生は5人。」（一堂に会して，話し合いで5つのテーマに集約）

ウ 「仲間を見よう。」（学年を解体してテーマ別のグループ編成・担当者決定）

エ 「計画を立てよう。」（学習内容・方法・発表の姿）

オ 「調べに行こう。」（現地で学習）

カ 「他のグループの良いところを見付けよう。」（中間発表会7/9）

キ 「調べに行こう・まとめよう。」（現地で学習・資料作成・発表練習）

ク 「オールランド博物館オープン。」（秋吉台・秋芳洞とその付近：11/11）

ケ 「ふりかえろう。」(自分の足跡をたどり、感想を綴る)

調べる段階で、児童だけの力ではどうしても無理な事柄が出てきます。このときは、教師や地域指導者の出番です。教師が下話しをしておいて、児童が電話でお願いをするように仕向けました。今回はハードルを低くしたわけです。

地域指導者・協力者・・・秋吉台科学博物館学芸員、秋吉台の自然に親しむ会、観光商工課、有線放送

(3) オールランド博物館オープン

- ・ 秋吉台の植物グループ(エレベーター口)
一人一人が自分のお気に入りの花に扮して、クイズや解説をしました。
- ・ 秋芳洞の生きものグループ[洞内]
秋芳洞の4ポイントに分かれ、ウォークラリーを仕組みました。顕微鏡を置いて、不思議な生き物の紹介もしました。
- ・ 秋芳洞の見所グループ[洞内]
9ポイントに分かれて、秋芳洞ガイドです。
- ・ 地形、歴史グループ[秋芳洞案内所]
劇形式で楽しく発表。クイズもしました。
- ・ 音グループ[秋芳洞への商店街の一角]
秋吉台や秋芳洞の音を流し、スライドを映し、ナレーションを付けました。間に寸劇が入ります。



秋芳洞の見所グループ

(4) ふりかえろう

これまでの学習活動を振り返って、自分に取り込まなければ血肉(生きる力)にはなりません。

児童は、秋吉台や秋芳洞(自然)に対して、温かい心情を抱いたようです。また、一つの学習の仕方、発表の方法も学び、明日への希望ももったようです。

ここで、本校の大きな課題が一つはっきりしました。それは、「話し合う力を伸ばすこと」です。この力は、学習活動のすべてのポジションに大きな影響を与えます。

4 学校が変われば

地域を生かす教育は3年目を迎えています。地域の方や施設に電話をすると、「ああ秋吉小学校さんですか。」「はいはい何でしょう。」保護者からいただいた手紙では、「娘との会話が随分増えました。どんどん(地域のことを)聞いてくるので、父親の私は、地域をもっと愛し、知らなければなりません。」

学校と家庭と地域で子供を育てる姿を、これからも手と足で探っていきたいと思います。

